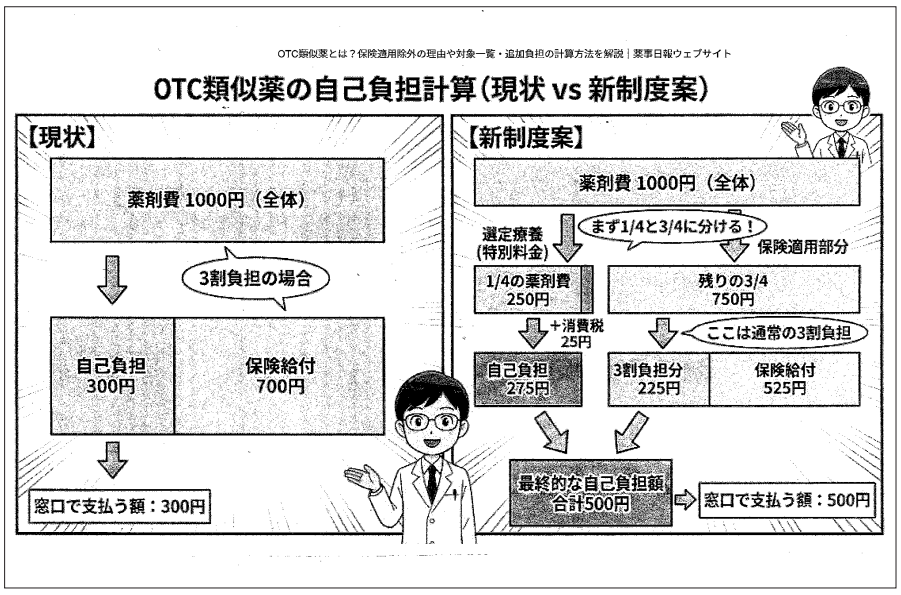
OTC医薬品とは？ 自己負担額が変わる？



ゆたか調剤薬局　薬局長　波多野　重紀



OTC医薬品のOTCは「Over The Counter」（オーバー・ザ・カウンター）の略でドラッグストアや薬局のカウンター越しに購入可能な医薬品の事です。市販薬・家庭薬・大衆薬などと呼ばれることもあり医師の処方せんなしで購入できるため、軽度な疾患を自分で手当てするセルフメディケーションを目的とした医薬品です。

OTC類似薬とはOTC医薬品と有効成分や効能・効果が類似する医療用医薬品の事です。例えば解熱鎮痛剤の「ロキソニン錠60mg」（処方薬）と「ロキソニンS」（OTC薬）は同じ有効成分「ロキソプロフェンナトリウム水和物」を含み、効能に大きな差はありません。

OTC類似薬の保険適用について、2025年12月19日の自由民主党と日本維新の会の政調会長間合意を踏まえ令和8年度中（2027年3月の実施を目指す）に実施する方針が示され、数回の会合を経て2026年5月29日には「健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、制度創設の根拠となる法整備は整いました。OTC類似薬の保険適用の完全除外は見送られたが薬剤費の1/4を「特別の料金」として新たな仕組みを創設しました。（図）その開始時期が2027年3月です。OTC類似薬の保険給付は患者が選択するものではなくこれに該当する薬品に対してで、それが77成分1100品目が対象になります。

主なものはLカルボシステイン、酸化マグネシウム、フェキソフェナジン、ヘパリン類似物質、ロキソプロフェン等があります。OTC類似薬が保険適用除外になると、処方された医薬品が対象か対象外かによって患者の自己負担額が変動します。例えば花粉症の治療で用いられる薬にはOTC類似薬が存在するもの（エピナスチン・フェキソフェナジン・ベポタスチンベシル酸塩など）とOTC医薬品が存在しないもの（ビラスチン・オロパタジンなど）が混在し、医師が患者の自己負担を考慮して保険適用となるビラスチンやオロパタジンを処方しようとする可能性は大いにあるでしょう。

介護募集

時給
身体2200円～
生活1600円～
ブランクOK
短時間OK

【勤務地】
・すずらん大森東
（大田区大森東4－6－15－101）
・すずらんゆたか営業所
（品川区豊町5－2－20）
・すずらん馬込営業所
（大田区北馬込1－13－2）

詳細はこちら▼

担当：下川　03-3762-0266　職場体験「かいチャレ」実施中！体験すると5000円の支給あり！

「よろず（なんでも）相談」無料

どんな相談でもできます。弁護士の相談も受けられます。

【品川】毎週火曜と木曜　10時～12時
場所はゆたか診療所3階　応接室（品川区豊町4－18－21）
相談担当は
火：植田栄一（生協理事）　第2、第4木：大澤千恵子（看護師）

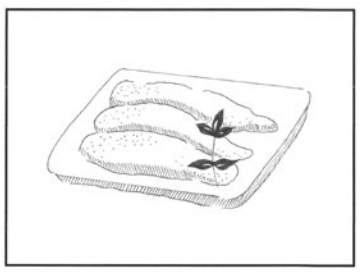
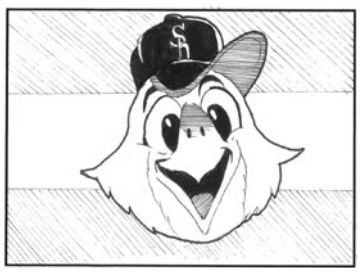
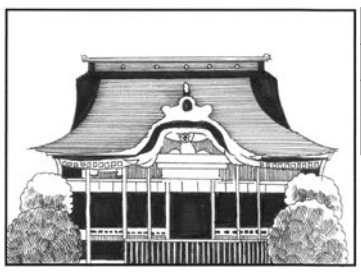
- 法律相談は月2回（要電話予約03-3781-4723　ゆたか診療所）
担当は串山弁護士と富沢弁護士（五反田法律事務所）
第1水曜　13時30分～15時30分　第3月曜　13時～15時

【大田】月曜～金曜　10時～12時
場所は大森中診療所6階　聴力検査④（大田区大森中1－22－2）
相談担当は
月：村松　茂（生協理事）
　　宮田冨美男（社会保険労務士）
火：前沢淑子（生協常務理事）
水：武政　良久（大田生活と健康を守る会事務局長）
木：色部　祐（社会保険労務士）
金：第1＝清水　洋（元大田病院事務長）　第2＝医療社会課
　　第3＝看護師（大田病院）　第4＝宮田冨美男（社会保険労務士）
　　第5＝介護保険室

- 法律相談は月2回（要電話予約03-6404-2301　大森中診療所）
相談担当は佐藤弁護士と早瀬弁護士（東京南部法律事務所）
第1・第4水曜　13時～15時　会場は大森中診療所6階「小児科②」
- **お薬相談**（相談担当は大森薬局薬剤師）と**成年後見専門相談**（司法書士）は、まずお電話を（03-3762-0266城南保健生協・横山まで）。相談日と時間の調整させていただきます。
- **歯科よろず相談について**
第2・4火曜日13時30分～14時　大田歯科玄関前にて行っています
電話やZOOMでの相談も可です。詳しくは大田歯科3762-0418まで

第49回　パズル

イラスト　市村　まどか（大田病院　医療社会）

からし　□□□□□

□□□□□

福岡ソフトバンク　□□□□

□□□□

てんまんぐう　□□□□

□□□□

解き方は、イラスト横の色網のかかったワクの文字を並べると、ある言葉になります。それが答えです。**今回のテーマは「福岡県」**。

答えのヒントは　**「美しい人がおこのみ」**

答えがわかったら、答えを書いてご応募ください。正解者の中から抽選で5名様に図書カードを贈呈します。

ハガキの余白もしくはメールに簡単なお便りを書いていただければ幸いです（なんでもOKです。私の健康法、最近の出来事、嬉しかった事、楽しかった事、好きな歌、みんなと共感したい事などなど）。「城南の保健」を盛り上げる意味でもお願いします。

なお、当選者のお名前と、お便りの内容を紹介するので、匿名希望の方はその旨明記してください。皆様のご応募、お待ちしています。

【応募方法】

ハガキもしくはメールに答え、住所、氏名、年齢、できれば簡単なお便りをご記入の上、下記へお送り下さい

メールの方は、kikansi@jonanhoken.gr.jp までお送りください

ハガキの方は、143-0012　大田区大森東4－6－15－101　サンマンション城南保健生協編集部まで【〆切り】は、2026年11月30日（月）

＊前回のパズルの答えは「デンタク（電卓）」

当選者は、稲葉智子、田中弘子、花島綾香、平林奈緒子、山本勝子・（応募40名）

独り言 ㉑

鏡　政子

開戦記念日12月8日、私にとっていや、日本人にとって忘れてはならない日です。私は国民學校3年生でした。真珠湾攻撃に成功したことを全校生徒を集めて、校長先生の訓辞があり、私はこの日から天皇陛下のために戦死することを誓ったのです。従軍看護婦になり、野戦病院で戦死する。

しかし、戦争は間違いだった。国民総懺悔だという。私は悪くない。敵を殺してなんかいない。だから謝らない。と頑張った。

定年後、中国へ行って上海抗日博物館を見学の後、現地の老人の話を聞いた。日本軍に攻め込まれ、家族が殺され、3歳だった自分だけ一人残され、今にいたっているという。私は初めて申し訳ないと思い涙がとまらず、申し訳なかったと誤った。

その時、館長はわたしを慰めるように言ってくれた。「貴方が悪いのではありません。日本の軍国主義が悪いのです。」今でも忘れることはありません。

年を取って、忘れることが多いのですが昔のことは覚えているのです。日本は2度と戦争をしない。と決めたことも。